

「匝瑳市総合計画前期基本計画（素案）」の意見募集結果について

「匝瑳市総合計画前期基本計画」の策定に際し、市民の皆様からご意見を募集したところ、結果は下記のとおりでした。お寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方は下記のとおりです。

ご協力をいただきましてありがとうございます。

記

1 案件名

「匝瑳市総合計画前期基本計画(素案)」

2 意見募集期間

平成19年12月10日(月)から平成20年1月10日(木)まで

3 意見の提出状況

- (1) 意見提出者数 1人(個人1人)
- (2) 延べ意見数 1件
- (3) 提出方法 電子メール1件

4 提出された意見と市の考え方

	意見の概要	市の考え方
1	<p>プラン2の「にぎわい創出プラン」は必要な対策だと賛同します。</p> <p>具体策として要望したいのは「歩道」の整備です。以前、八日市場駅前通りは「銀杏並木」でしたが、「まき並木」に変更された上、人同士のすれ違いもままならないほど歩道が狭められてしまいました。</p> <p>また本来、地元商業の象徴であるべき本町通りも人の通行がしにくくなっています。一方通行にするなどして歩道を確保し、通学や買い物に歩きやすい道路整備を望みます。</p> <p>お金を使って改悪をせず、地元住民や商店等と知恵を出しながら有意義な都市整備をお願いします。</p>	<p>旧八日市場市時代に、「全国有数の植木のまち」をPRするために、駅前ロータリーの整備後に、当時の市の木であったマキを街路樹として県と市で整備したものです。マキは枝が張るために、歩行者の妨げにならないかという心配はありましたが、マキの枝物が地域の特産であること、街路樹としては全国的にも珍しいなどの理由から植樹されました。</p> <p>マキは合併後も市の木として制定されたことから、引き続き、地域の独特の景観となっています。</p> <p>しかし、歩道の機能整備と地域の特性や景観をどのように両立させていけばよいのか、関係機関や地元住民の御意見を聞きながら検討していきます。</p>